



警察アラ?!カルト No.70

～ 安心のメニュー ～



「みんなで、はい、チーズ！」

高齢者の行方不明の通報を受けた警察官のお話です。

警察官： いなくなったおばあちゃんを手配したいので、写真をお借りできますか？

家族： わかりました・・・これしかないな。

警察官： ん??若くないですか、おばあちゃん。

家族： 撮影する機会が無くてこれしかないんです。

(6年前の親戚の結婚式の時の写真じゃダメよね・・・)

行方不明の際、体格や着ている服といった情報と共に、同意を得た上で行方不明者の顔が分かる「写真」を警察官などに手配し探します。ですが、写真が古いと効果的な搜索活動が出来ません。

おじいちゃん、おばあちゃんの所へ行く機会を作って、コミュニケーションをとりながら、「みんな仲良く記念撮影！」はどうですか？

集まったときは、特殊詐欺被害防止の話も忘れずに！！



- 平成27年中、認知症やその疑いで行方不明になり警察で届出を受けたのは、全国で1万2208人。前年よりも1425人(13.2%)増加しました。(6月16日、警察庁発表)
長野県内でも昨年中122人(前年比+1人)の届出があり、搜索活動を行っています。
- 高齢者の行方不明は、重大交通事故にも繋がるため素早い保護が求められています。
- 様々な話題を通じて家族の絆を深めましょう！！

会社の朝会、家族の団らん、お客さんと接する機会等に
話のネタとしてご活用下さい。

